

NPO法人 きらきら発電・市民共同発電所 10周年記念の集い

エネルギーの地産地消をめざして

もがみ地産地消エネルギー合同会社

～山形県最上町での取り組み～

2025/05/06 赤川 健一



本日の内容

1. はじめに

- 自己紹介
- 山形県最上町について

2. これまでの活動（合同会社設立前まで）

- 薪ストーブとさまざまな出会い
- やまがた自然エネルギーネットワーク
- 木の駅@もがみ
- 個人での太陽光発電

3. もがみ地産地消エネルギー合同会社

- 会社概要
- 電力の小売（取次）
- 電源開発
- 地域資源活用・課題解決

4. 株式会社JPD

- 会社概要
- 事業内容

5. まとめ

- なぜ2つの仕事をしているのか
- 今感じていること
- 今後の展望

自己紹介



赤川 健一

Akagawa Kenichi

1978/11/09 46歳

株式会社JPD

もがみ地産地消エネルギー合同会社

● 1997年～2002年 大学（仙台）・大学院時代（東京）

理学部で、地球の内部や月・小惑星などの科学を勉強・研究。
小惑星探査機「はやぶさ」に搭載するX線装置の開発をお手伝い。

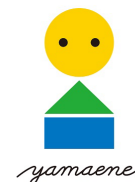
● 2003年～ 東京で就職、システムエンジニアに

東京（渋谷）にて、システムエンジニアとして社会人スタート。
携帯電話の通信や、病院の電子カルテ関連のシステム開発に従事。



● 2009年 最上町の実家にUターン

東京の会社を継続したまま、自宅でリモートワークを中心に働く
やまがた自然エネルギーネットワークと出会う



● 2018年8月 株式会社JPDへ転職

新庄市にあるコンテンツ制作会社へ
WebサイトやIT支援などがメイン業務



● 2023年3月 もがみ地産地消エネルギー合同会社設立

自然エネルギーを活用した地域エネルギー会社
JPDと2足のわらじでお仕事

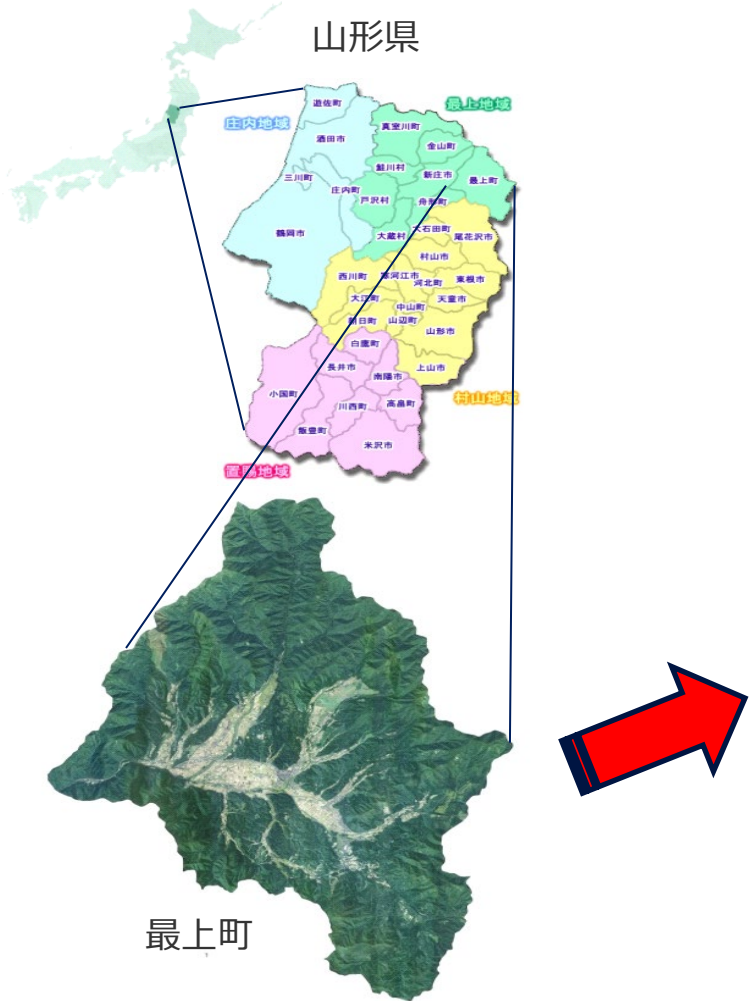


最上町出身・最上町在住、妻、娘（14歳×2）、息子（8歳）



山形県最上町について

- 県境の町、山々に囲まれたカルデラの町
- 人口 7,275人（令和7年4月）



和牛・アスパラガス等の産地！

区 分	面積（h a）	面積割合
全体の面積	33,027	100.0%
森林面積	27,791	84.1%
民有林	5,629	17.0%
人工林	3,661	11.1%
天然林	1,742	5.2%
その他	226	0.7%
国有林	22,162	67.1%
農地	2,692	8.2%
宅地	284	0.9%
その他	2,260	6.8%

* 最上町提供資料（2025年4月）



2. これまでの活動・経緯（合同会社設立前まで）

- 薪ストーブとさまざまな出会い
- やまがた自然エネルギーネットワーク
- 木の駅@もがみ
- 個人での太陽光発電

薪ストーブの導入からの様々な出会い

- 2009年、自宅の建て替え時に薪ストーブを導入
- 薪づくりやストーブつながりでさまざまな出会い
- やまエネ（やまがた自然エネルギーネットワーク）との出会い



やまがた自然エネルギーネットワーク

2011年エネシフやまがたとしてスタート
2015年より、やまがた自然エネルギーネットワークとして再スタート

やまエネの活動・プロジェクト

- ・ さくらんぼ市民共同発電所
- ・ やまエネ自然エネルギー学校
- ・ やまがた薪まきネットワーク
- ・ 農家のソーラー発電所
- ・ やまがた自然エネルギー読本
- ・ 電力会社を切り替えのススメ

<https://yamaene.net/>



yamaene

自然エネルギーによる、
安全で持続可能な
まちづくりを山形から。

わたしたち〈やまエネ〉は、森や山などの自然資源をつかった、
原発にも石油にも頼らない、自然エネルギーによる「安全」で
「持続可能」な暮らしづくりに取り組む団体です。大自然に囲ま
れた山形県は、自然エネルギーの宝庫です。自然エネルギーをつ
かう人・つくる人の輪を広げ、みんなが自然エネルギーをつかう
まちづくりを山形から発信します。



さくらんぼ 市民共同発電所

- ・ 市民参加型、市民出資による太陽光発電所

さくらんぼ市民共同発電所はソーラーワールド株式会社とやまがた自然エネルギーネットワークが共同で東根市につくった発電所です。山形県内で3. 1 1 後初となる、市民出資による共同発電所が東根市に誕生しました。

やまエネ自然エネルギー学校

自然エネルギーを総合的に学び、山形で実践していくためのプログラムを組んだのが「やまがた自然エネルギー学校」です。県外で活躍する第一線の講師を招くとともに、県内各地域に即した自然エネルギーの利用方法を学び、具体的な導入方策を参加者とともに考えていきます。



やまがた自然エネルギー学校

2023.03.03

申し込みを締め切りました：
西目屋村の新事業の取り組...

*参加申し込みを締め切りました。たくさんのお申し込みありがとうございました。
西目屋村は白神山地のある、人口1200人の青森県の村です。2017年に...



やまがた自然エネルギー学校

2022.09.04

イベント情報：ほしい未来は、自分たちでつくる～家庭...

人のせいにならず、自分に“矢印”を向けられる「当事者」を育てるには？“ほしい未来は自分たちの手でつくっていく”と思える生徒を育てる...



やまがた自然エネルギー学校

2022.08.25

バイオマス懐疑論を分かりやすく解説してもらいます

最近、「バイオマスは石炭よりも環境に悪い」という話が聞かれるようになりました。薪やペレット、チップといったバイオマスエネルギーは山形で...

ZEB
to Energy Build

やまがた自然エネルギー学校

2022.08.06

ZEBを取り巻く環境とその進め方、開催のお知らせ

オンラインで開催いたします。詳細はこちらです。 ■講師 備前グリーンエネルギー事業統括部長・執行役員 山口卓勇さん ■日時 2022...



やまがた自然エネルギー学校

2022.02.17

やまがたの森林資源を活用した地域で取り組むSDGs...

■日時 2022年3月10日(木) 13:30-15:00 ■開催方法 オンライン開催 (Zoomウェビナー) ①講座 いま向き合うべき 山形県内...



やまがた自然エネルギー学校

2021.11.03

山形RE100シンポジウム 弾 山形から展開する...

自社で使う電気を100%再生可能エネルギーにする目標を掲げるRE100企業やガス排出ゼロを宣言する企業が日本に増えていきます。そして、山形...

SOLAR, WIND,
BIOMASS, BIOGAS,
HYDRO POWER,
CHIP BOILERS,
PELLET BOILERS,
AND MORE.

や
ま
が
た

自
然

エ
ネ
ル
ギ
ー

読
本

RENEW ABLE ENERGY BOOK 2021

やまがた 自然 エネルギー 読本

日本でも自然エネルギーが増えてきましたが、山形県はどうなっているのでしょうか。県内の様々な自然エネルギーの現状をデータで見ながら、各地の取り組み事例を紹介しています。

新庄里山薪クラブ (2014~2021)

- やまエネのメンバーや新庄最上の薪ストーブユーザーと薪づくり・里山整備活動
- 新庄市金沢地区の共有林（財産区有林）で間伐&薪づくり



木の駅@もがみ (2016年～2023年)

- 山をキレイに、地域通貨を使ってローカルな経済を回し、地球温暖化ストップ。
- 人とものお金が最上町の中でやさしく循環する仕組み





もがみ地産地消エネルギー（任意団体設立）

- 木の駅を運営する任意団体として、2015年12月に設立
- 木質バイオマスに関わる会社の代表や薪ストーブユーザーの個人5人で立ち上げ

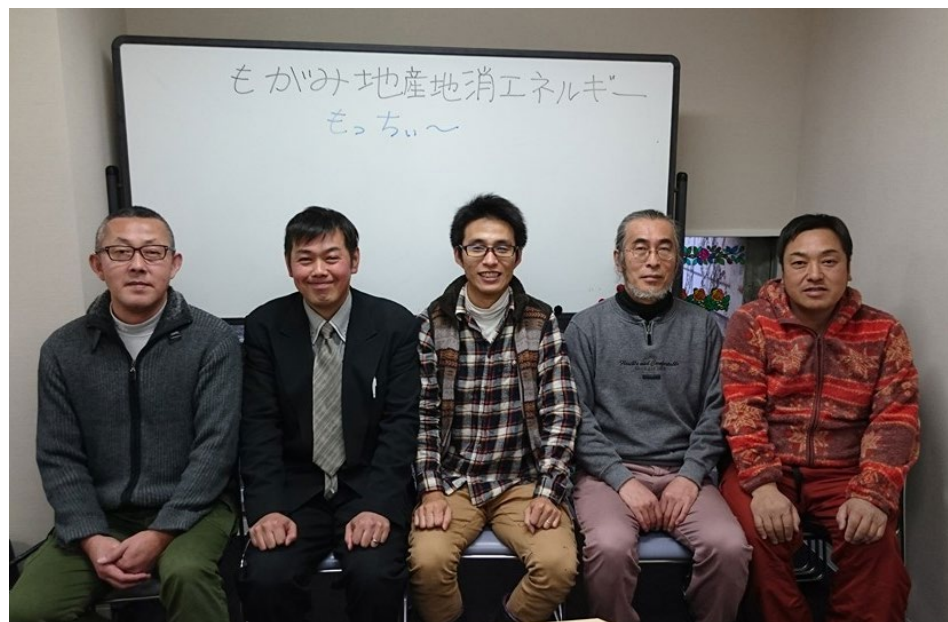
「もがみ地産地消エネルギー」

通称：Mocchie： **Mogami chisan-chisyo energy**
(もっちい～)

最上町の個人、団体、企業、行政、みんなでエネルギーの地産地消を実現するために活動する組織です。

ここで言うエネルギーとは、光・熱・電気といった物理的なエネルギーはもちろん、人の元気・情熱、地域の活力といった精神的なエネルギーも含まれます。

自分たちのエネルギーは、自分たちで作り出して使う、活用する。自分たちの住む地域は、自分たちで維持する、変えていく。そのようなエネルギー溢れる地域社会の実現を、ここ最上町から目指します。



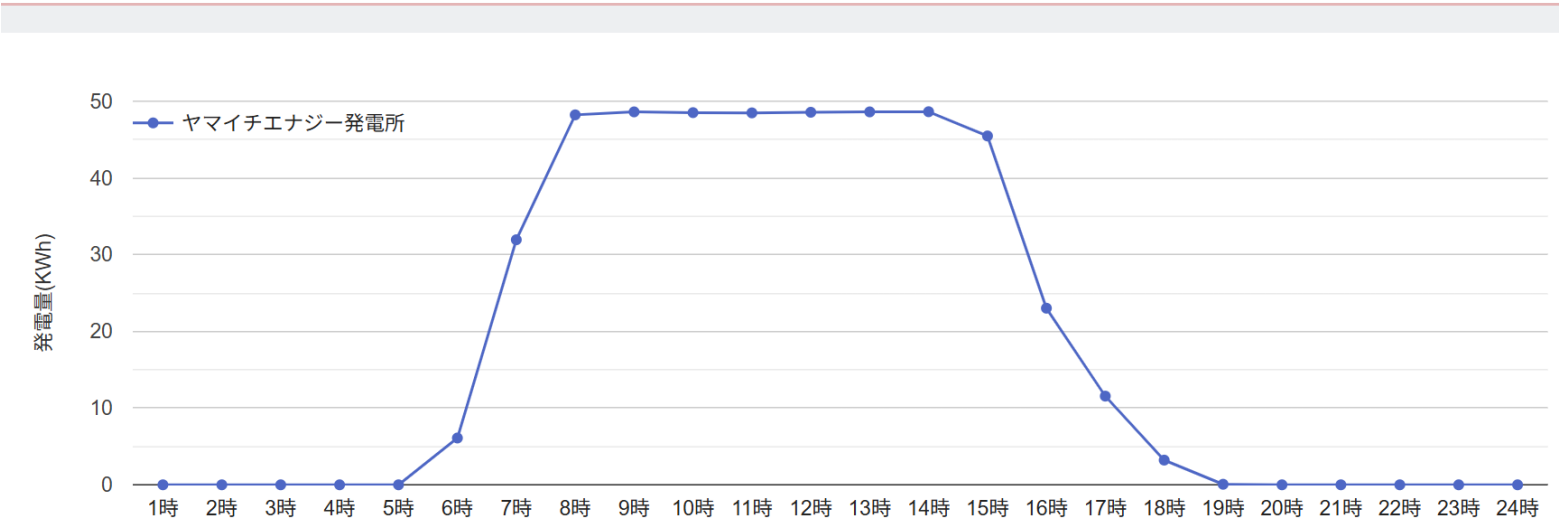
個人での太陽光発電（低圧）



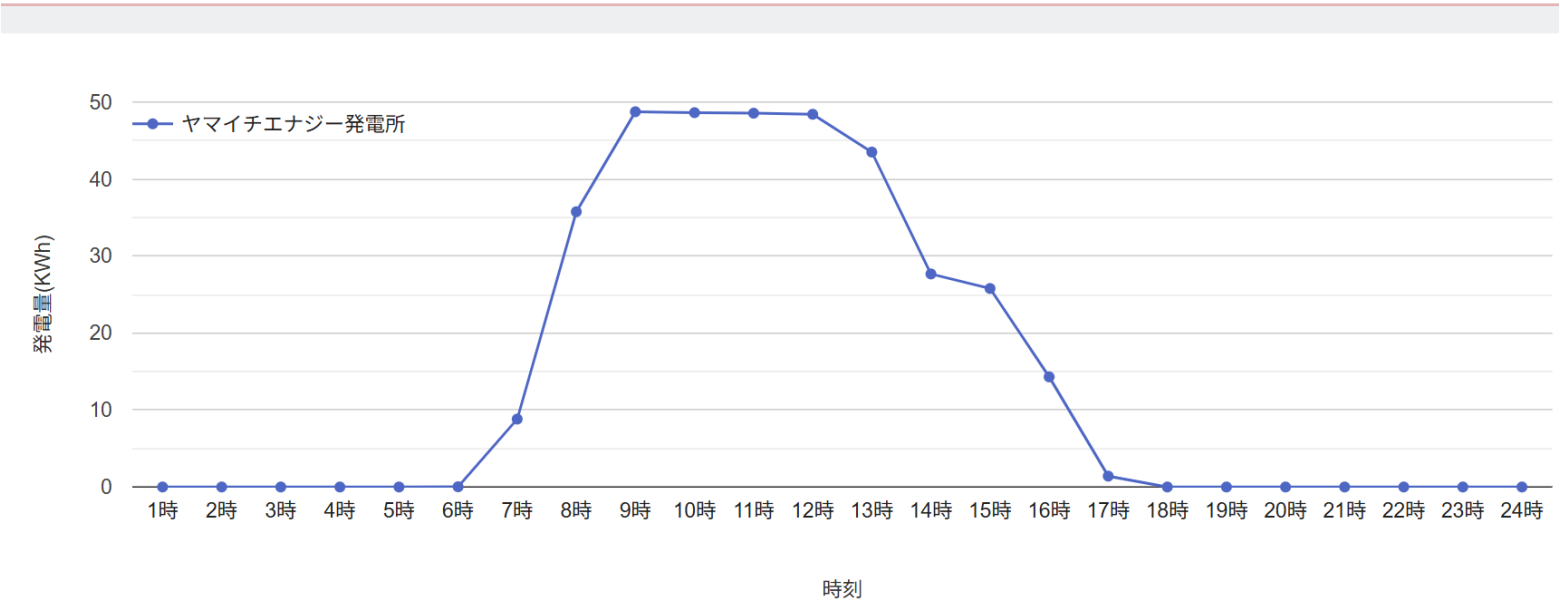
- 場所：自宅近く、10年ほど放置されてきた土地
- パネル：JINKO SOLAR / 295W * 350枚=103.25kW
- パワコン：田淵電機 / 5台
- 架台：アモイ エドリーソーラー
- 工事：（株）エナジープランニング
- 総工費：約1,900万円
- 売電価格：24円（H28 FIT申請）
- 2017/6/21より売電開始

発電パターン

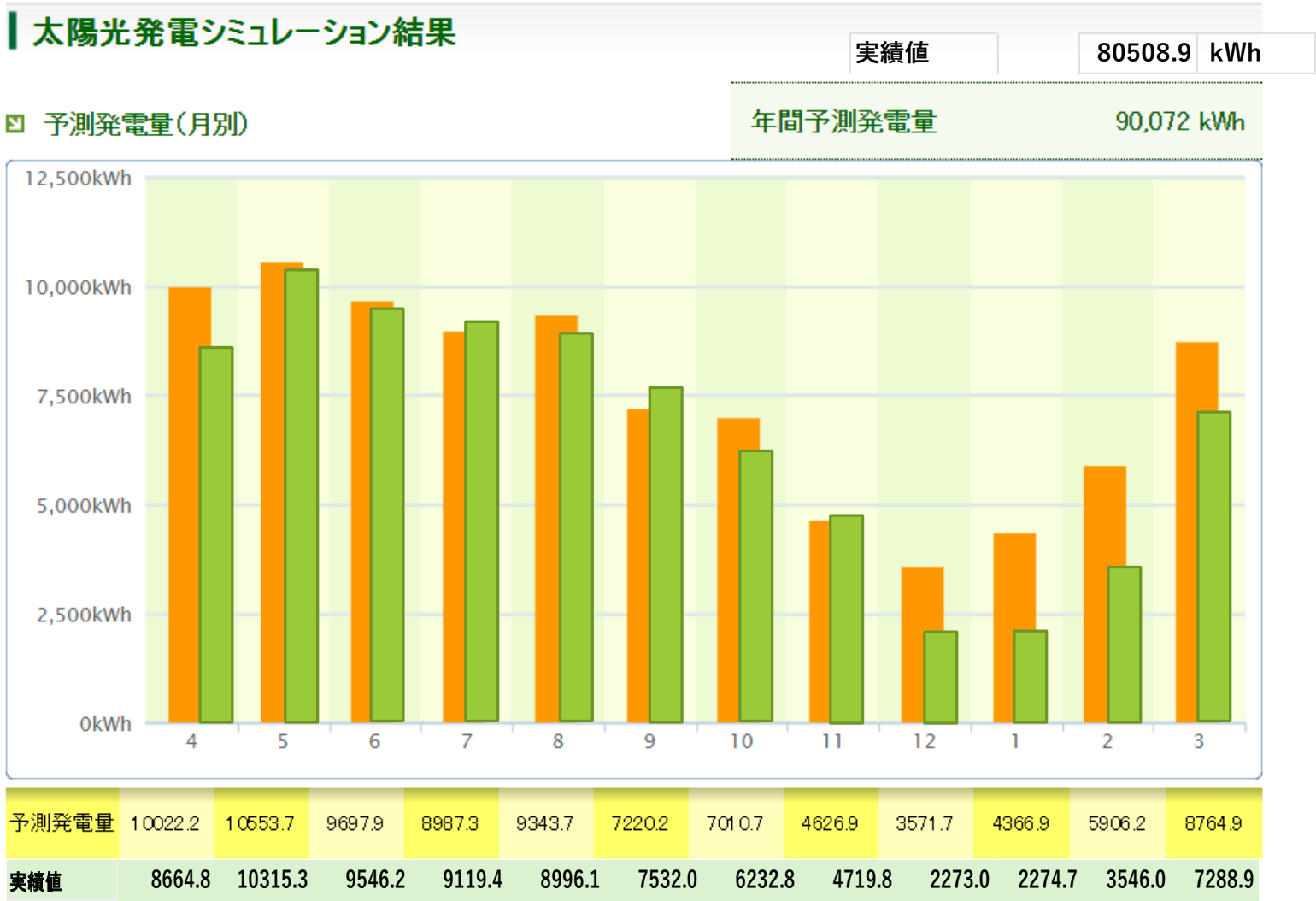
2025年4月22日 発電量(毎時・設置場所単位)



2024年10月14日 発電量(毎時・設置場所単位)



シミュレーションとの比較



3. もがみ地産地消エネルギー合同会社

- 会社概要
- 電力の小売（取次）
- 電源開発
- 地域資源活用・課題解決

もっちいとは？

もがみ地産地消エネルギー合同会社 Mogami chisan-chisyo energy



設 立 : 2023年3月29日

住 所 : 最上町富澤2344 une内

代表社員 : 三部義道 (松林寺住職)

構 成 員 : 山田建設(株)、(株)下山製材、個人4名

事業内容 : 電気小売 (取次) 、再生可能エネルギー発電事業、
まちづくり・地域資源活用事業

わたしたちのビジョン

わたしたちは、電力供給事業、および再生エネルギー開発事業を通して、エネルギーの地産地消を実現し、地域内の経済循環を生み出します。

事業を通して出た利益を原資として、地域課題の解決に取り組み、地域への投資を行うことで、地域に還元します。

そして

“必要なものは自らつくる” “自分のことは自分で決める”
というマインドセットを育み、“理想の暮らし・まち・未来”
を思い描き、行動に移します。



“ 目指すは地域密着のエネルギー会社

最上町（最上地域）の脱炭素化の取り組みを加速し、持続可能な地域づくりを担うローカルシンクタンク・中間支援組織

やまがた新電力取次（小売） 高圧

やまがた新電力の取次販売による事業スキーム



- 地域内の公共施設、民間企業を対象に、業務用・高圧の電力プラン取次から開始。
2024年秋より、低圧の取次もスタート。
- 現在の取次契約状況（2025年5月現在）
 - － 町内公共施設：11施設、町内民間企業：1社
 - － 契約容量：約1,000kW
- 今後の見通し
 - － 2026年 契約容量：3,000kW
 - － 2027～2028年中に電気小売事業者登録を目指す

やまがた新電力は県内の自然の恵みから生まれた、
地域のエネルギーを県内の皆様にお届けいたします。

1. メニュー概要

	やまがた CO ₂ フリーでんき	市場連動型プラン
プランの特徴	JEPX のスポット市場価格 (市場価格) の変動の影響を緩和した料金プラン	市場価格に連動する料金プラン
市場価格の割合	40%	100%
非化石割合	100% (山形県内再生可能エネルギー発電所等由来)	0%
備考	・2027年3月31日まで提供 ・受付状況によっては新規受付を停止することがあります。	—



2. プラン詳細

● 料金単価表 (消費税相当額を含む)

契約種別	業務用電力	高圧電力 S
基本料金	1,991.07円/kW	1,656.89円/kW
電力量料金	19.43円/kWh	19.43円/kWh

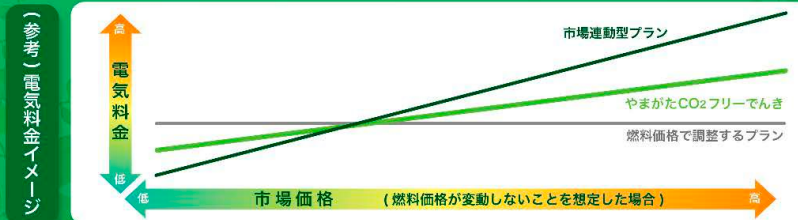
● 市場価格調整単価 計算例

例1) 市場価格が10円 (税込) の場合

	やまがた CO ₂ フリーでんき	市場連動型プラン
補正後市場価格	12.63円/kWh	同 左
① 電力量料金単価	19.43円/kWh	同 左
市場調達係数	0.4	なし
② 市場価格調整単価	-2.72円/kWh	-6.80円/kWh
① + ②	16.71円/kWh	12.63円/kWh

例2) 市場価格が30円 (税込) の場合

	やまがた CO ₂ フリーでんき	市場連動型プラン
補正後市場価格	33.73円/kWh	同 左
① 電力量料金単価	19.43円/kWh	同 左
市場調達係数	0.4	なし
② 市場価格調整単価	5.72円/kWh	14.30円/kWh
① + ②	25.15円/kWh	33.73円/kWh



市場価格の変動によっては電気料金が高額となる可能性があります。

もっちいでんき

低圧(家庭用・事業所向け)の
取次はじまります！



もっちい（もがみ地産地消エネルギー合同会社）は、山形県内の自然エネルギーで作られた電気を中心とした電気の販売（取次）を行っています。
※電力供給事業者は、株式会社やまがた新電力（山形市）です。



もっちいでんき Bプラン

家庭用の一般的なプランで、時間帯などによらず、常に電力単価一定のプランになります。もっちいでんきBと東北電力の従量電灯Bは、料金的には一緒なのですが、同じ金額で完全にCO2フリーの電力に切り替えられます。※個人契約の場合に限ります

もっちいでんき 昼トクプラン

太陽光発電によって作られた電気を活用することにより、お昼の時間帯（8時～16時）の電力単価が安くなるプランです。エコキュートを使っている家庭で、エコキュートの湯沸かし設定を昼間の時間に変更することで、今までの電気代よりも安くなる場合があります。
※詳細は個別にシミュレーション致します。お気軽にご相談下さい。

Mocchie もがみ地産地消エネルギー合同会社
Mogami chisan-chisyo energy

【Tel】 0233-29-9263
【Mail】 info@mocchie.jp
山形県最上郡最上町富澤2344(une内)



もっと地元投票しよう！

お金を支払うことは、投票と同じです。
お買い物は地元の商店で、お仕事は地元の会社をお願いします。
地元で貯めたお金を外に流しては、地元経済は良くなりません。
再生可能エネルギーだって、地元の会社でなければ
地元の自然をただ利用されているだけにすぎません。
みんなが使う電気だって同じです。
地元で電力会社があれば、切り替えられます。
もっちは、最上町に誕生した電力会社です。
もっちは、もがみ地産地消エネルギー合同会社のことです。
社名のとおり、エネルギーの地産地消を始め、地域内循環経済の実現を目指しています。

私は、もっちいでんきを使っています。

もっちい（もがみ地産地消エネルギー合同会社）は、山形県内の自然エネルギーで作られた電気を中心とした電気の販売（取次）を行っています。 ※電力供給事業者は、株式会社やまがた新電力（山形市）です。

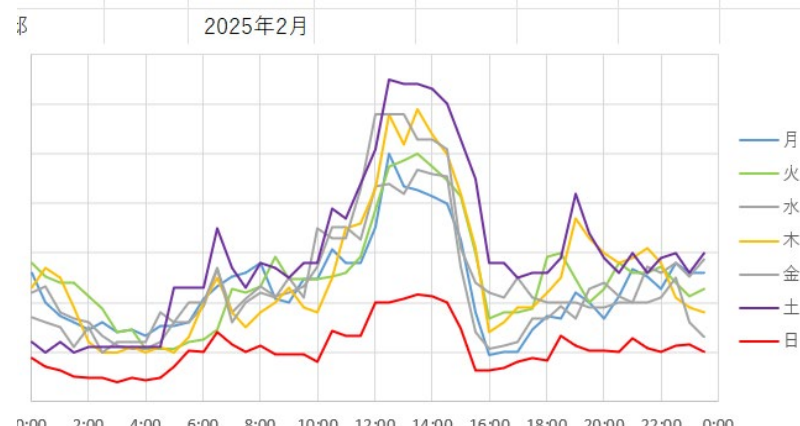
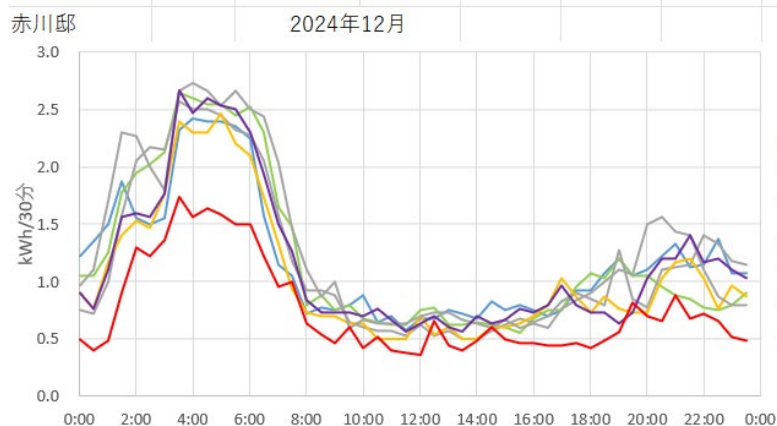
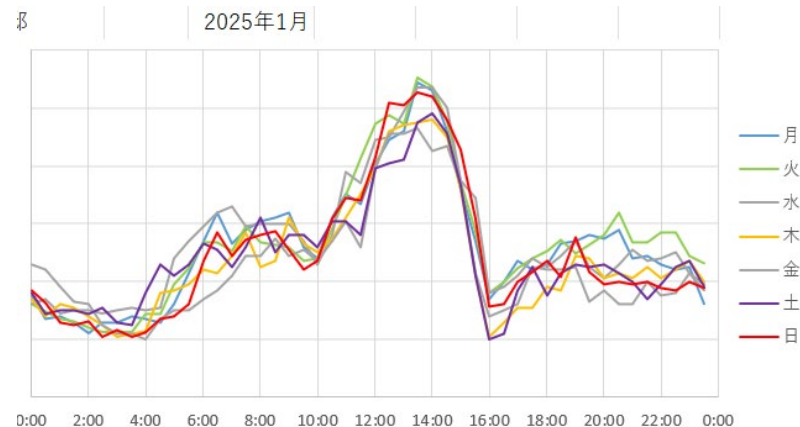
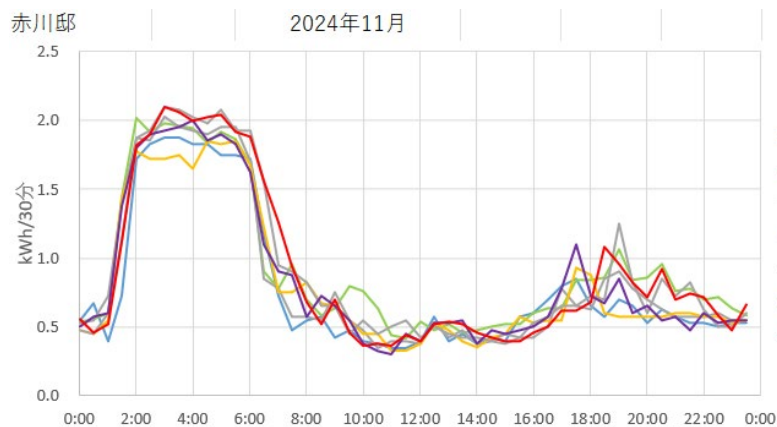


Mocchie もがみ地産地消エネルギー合同会社
Mogami chisan-chisyo energy

【Tel】 0233-29-9263
【Mail】 info@mocchie.jp
山形県最上郡最上町富澤2344(une内)



もっちいでんき昼とく（利用例）赤川家の場合



- 赤川家切替前（東北電力時間帯別電灯B）と後（もっちいでんき昼とく）の電力パターン
- オール電化・深夜電力からの切り替えできなかった層、お昼に電気を使う家庭や事業所へ
- CO2フリーの電源、ジモト（山形県内）で作られた電気を使う

自然エネルギー由来の電源開発



太陽光発電

FIT/非FIT、自家消費型PPAモデル、ソーラーシェアリングなど、様々な形態で地域・顧客に最適な開発をスピーディーに進めていく。



小水力、木質バイオマス、バイオガス、地熱発電

可能性調査から着手して進めていく



最上町としての取り組み(1)

「バイオマスエネルギーシステム化実験事業」 (NEDO事業H17～21年度)

木質バイオマスエネルギー利用フロー

(地域の間伐材をチップにし、燃料として利用し町内の施設の冷暖房・給湯・融雪に利用)



G I Sシステムによる計画構築



伐採収集運搬システム



チップ加工システム



エネルギー利用システム



最終利用システム

○暖房・冷房・給湯・融雪に利用

☆ウエルネスプラザ

(最上病院、健康センター、福祉センター、老人健康施設及び集合住宅、園芸ハウス)

- エネルギー源の持続的な供給見通し
- 中長期的な計画と策定
- 作業計画の策定

- 低コスト施業の実現
- 森林の保育と循環
- 所有権と利用権の分離

- 丸太材をエネルギーに
(木質チップの生産)

- 木質焚きボイラで
温水の生成



最上町としての取り組み(1)

「バイオマスエネルギーシステム化実験事業」（NEDO事業H17～21年度）

エネルギー最終利用システム（最上町ウエルネスプラザの地域冷暖房システム）

○ 化石（重油）燃料の削減効果

単位：リットル

対象機種 年度	重油ボイラ		冷温水発生機		消費合計
	NO 1	NO 2	NO 1	NO 2	
H11～H17の平均消費量	124,996	101,411	161,570	52,016	439,993
H21 消費量	72,705	55,974	113,794	4,433	246,906
削減量	52,291	45,437	47,776	47,584	193,087

○ 削減額

化石燃料削減額	95円/ℓ×193,087ℓ	18,343,265円
給食室利用の給湯用LPガス		2,000,000円
削減額の合計		20,343,265円

○ 削減額の使途

バイオマスボイラの維持管理	電気使用料金	5,000,000円
	維持管理経費	3,000,000円
バイオマス燃料（1,581t（丸太換算1,800m³）	燃料購入費	12,000,000円

◎ 燃料の削減額が【森林整備や燃料チップのための財源】に。

◎ 地球温暖化対策にも大幅な貢献！

地域内経済循環！
木質バイオマス利用の拡大へ

最上町としての取り組み(2)

木質バイオマスの熱利用（H17年～）

第1エリア

ウエルネスプラザ



エリア概要（整備期間H17～H22）

町の医療福祉施設、園芸ハウス及び給食センターに加え、民間の老人ホームに対し、地域熱供給を行う。

平成19年度：木質バイオマスボイラ(550kw)稼動

平成20年度：木質バイオマスボイラ(700kw)稼動

平成24年度：木質バイオマスボイラ(900kw)稼動

第2エリア

すこやかプラザ



エリア概要（整備期間H20～H22）

幼保一元化のもと、町の中心的な子育て施設として整備。町は、子育て王国を目指し、H27には保育料の無償化を実施。

平成22年度：木質バイオマスボイラ(180kw)稼動

第3エリア

若者定住環境モデルタウン

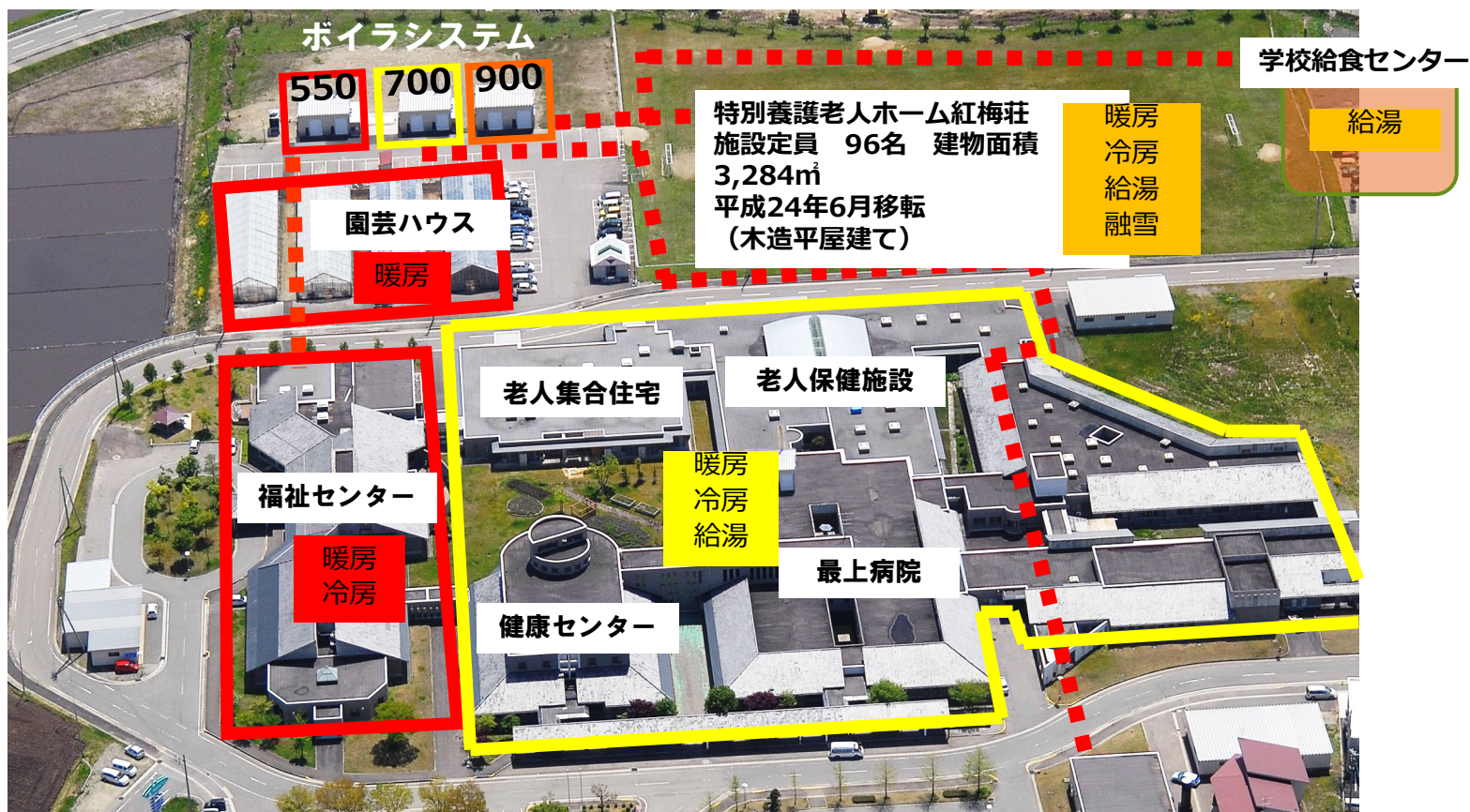


エリア概要（整備期間H27～H28）

モデル住宅、集合住宅等を含め、23世帯分の住居を用意しながら、木質バイオマス利用の地域熱供給を実施。

平成28年度：木質バイオマスボイラ稼動
90kw × 2台
60kw × 1台

①-2 ウエルネスプラザにおける熱供給の拡大



NEDOバイオマスエネルギー地域システム化実験事業(H17年度～H22年度)

[総事業費 820,947,681円 委託事業費802,218,337円]

H19年度 550kW稼働開始、H20年度 700kW稼働開始。

H24年度900kW及び3基のシステム連携が稼働

[総事業費 107,750,000円 補助金103,992,000円(山形県森林整備促進・林業等再生事業)]

③ 若者定住環境モデルタウンにおける木質バイオマスによる地域熱供給

- 若者定住促進と地方創生の展開
- 雪との共生と快適なモデルタウンの形成

- 人と環境にやさしいモデルタウンへスマートコミュニティタウンへ
- モデルタウン内のコミュニティ形成

開発区域面積 10,830.34㎡
(1.08ha)

最上町若者定住促進住宅 2棟(10戸)
(地域優良賃貸住宅)

モデル住宅(6棟)

2タイプ

若者がこの町に家族をもち、安心して子育てを行える住宅環境の提供。人と環境にやさしいモデル住宅として、シンプルで、若者が無理なく取得できるモデル性、再生可能エネルギーを活用した地域熱供給による先進性、次の世代にわたり住宅の構造躯体が使用できる耐久性と耐震性、内装や設備について、統一したプランによる維持管理・更新の容易性、断熱性能などの省エネルギー性が確保された省エネルギー性(省エネ対策等級 4 相当)、良好な景観の形成や建物単体だけでなく 6 棟の関連によるモデル的居住環境性を兼ね備えた住宅を建築。

延べ床面積 95.22㎡
敷地面積約 249㎡(約 75坪)
1階 LDK26.5㎡(約 16畳)
2階 主寝室 9.52㎡(約 6畳)
子供部屋×2 各 9.93㎡(約 6畳)



分譲地
(2区画)

モデル住宅 6棟

分譲地 (5区画)

分譲地(7区画)

地域熱供給を基本とし、若者定住モデル住宅を参考としながら、モデルタウンの街並みや景観に考慮した住宅を基本とした良質な景観の形成を促進。
全 7 区画 敷地面積 255㎡～260㎡

オープンスペース・タウン農園

タウン居住者が共有財産として愛着をもち、協働による維持管理をしながらコミュニティの強化や環境の維持・向上を図る

若者定住促進住宅
10世帯分

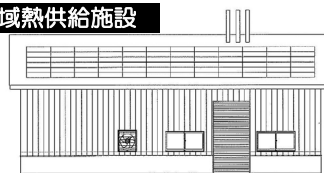
地域熱
供給施設

オープンスペース
(広場)

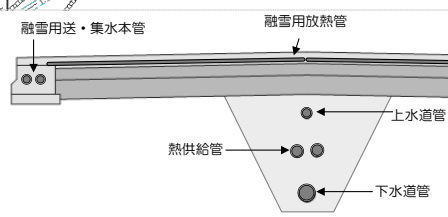
地下水熱利用融雪設備

地下 100m から地下水をくみ上げ、放熱管を通して地下 70m の注入井から地下水を還元する地下水熱還元方式無散水消雪システム。融雪面積 1,931㎡
(L=273.1m W=9.0 6.0m)

地域熱供給施設



乾燥チップ焚きボイラ 90kW
ペレット焚きボイラ 90kW
薪ボイラ 60kW
太陽光発電 15.5kW
バッファータンク 17㎡
制御システム、熱供給管



地域熱供給設備(太陽光含む)費149,904,000円(国費73,787,000円)
地下水熱利用道路融雪設備費137,484,000円(国費67,673,000円)

- ゼロカーボンシティ宣言（2021年12月）
- ゼロカーボンシティ推進協議会（2024年～）
 - － 協議会の運営と関連する活動・支援
 - － 地球温暖化対策実行計画の改定支援（アンケート調査等協力）
- 環境省の重点対策加速化事業への取り組み・体制づくり（2023年～）
 - － 公共施設の電力をもっちいでんき（CO2フリー）へ切り替え
 - － 公共施設へのPPAや遊休地での地域裨益型の太陽光発電

昨年度の重点対策加速化事業の検討

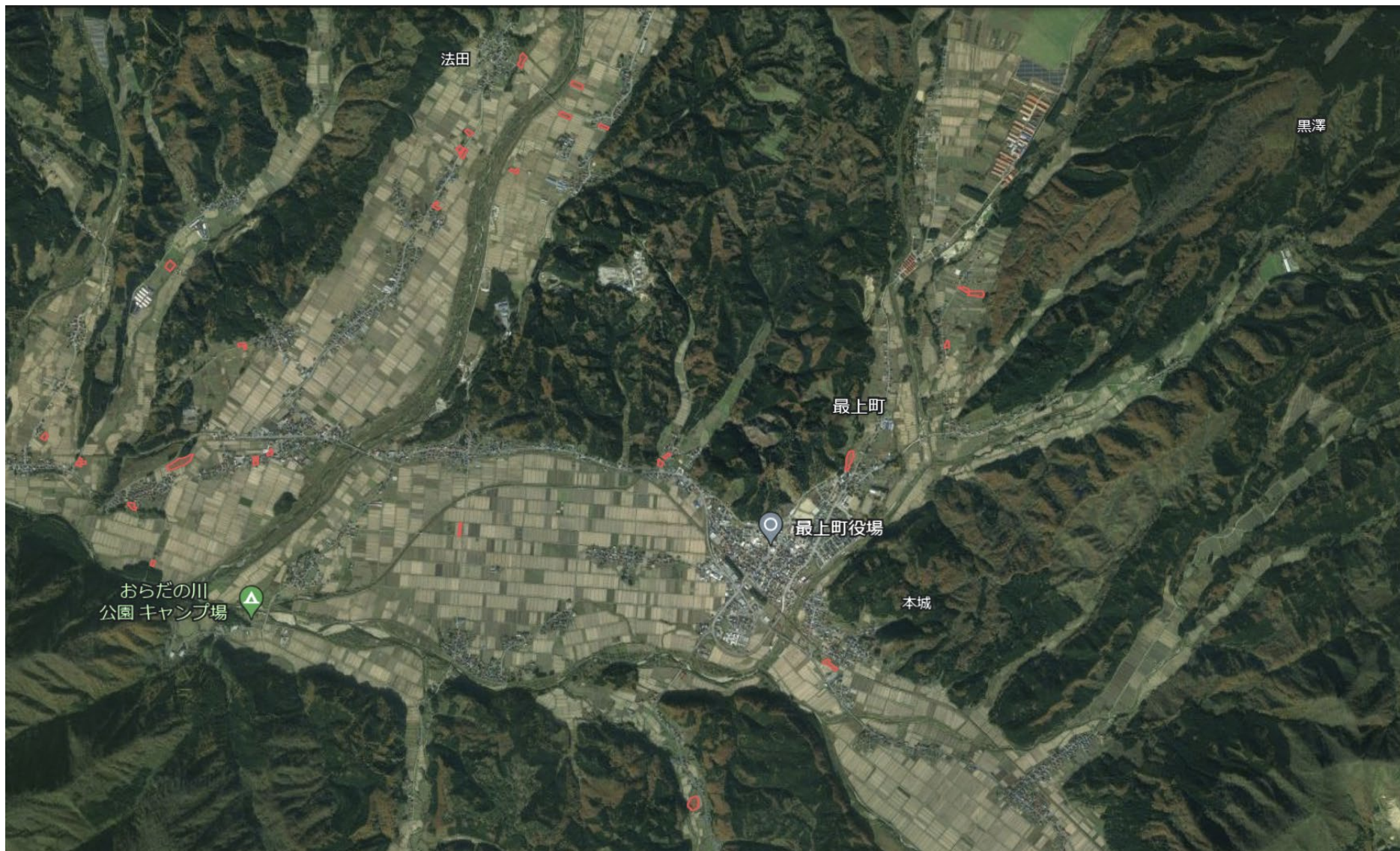
ウェルネスプラザ周辺の太陽光発電導入可能性



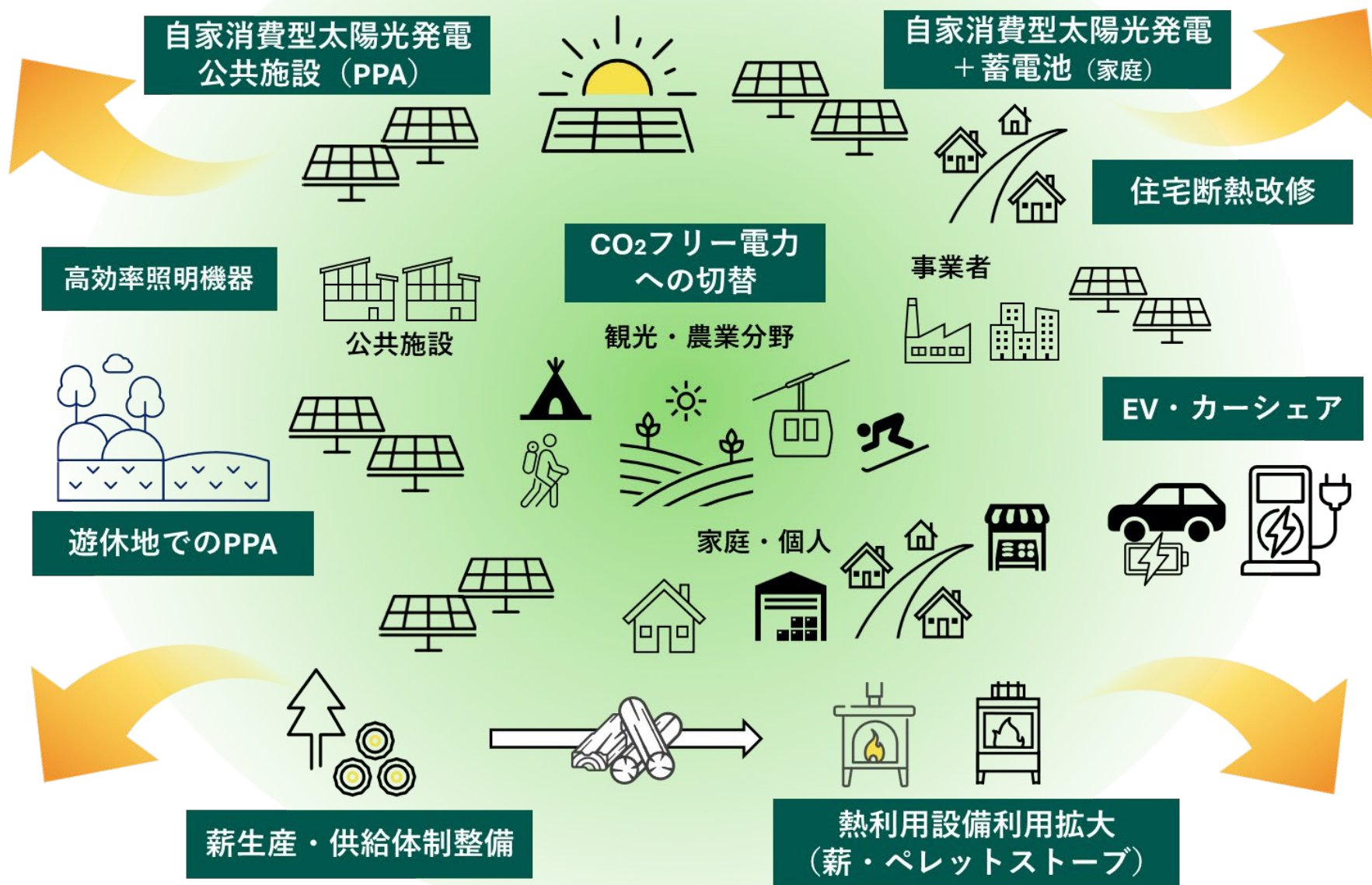
1. **ボイラ施設裏**
 - 約2,000m² ⇒100kW
2. **東側農地**
 - そば : 4,900m²
⇒245kW
3. **浄化センター**
 - 敷地内 : 約2,800m²
⇒140kW

昨年度の重点対策加速化事業の検討

遊休地を活用した太陽光発電導入可能性（46箇所）



観光・まちづくり事業と脱炭素化の連携を最上地域に波及



地域資源活用・課題解決への取り組み



木質資源（薪、木材）を利用した商品開発・販売



アウトドアフィールド事業
（キャンプ場やスキー場の利用拡大）



木質バイオマスの利用促進、省エネ推進と
組み合わせたデジタル地域通貨



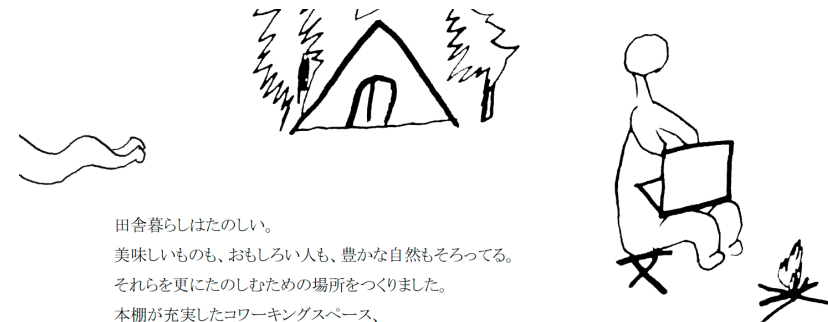
空き家や未利用施設（旧小学校など）の活用
移住定住コーディネーター

地域資源活用(1) une

- 最上町赤倉温泉にある旧地区公民館を利活用

<https://une.life/>

- 昭和61年建築の木造建造物
- 公民館機能が別の場所に移り取り壊されるところをレスキュー
- 子どもの遊び場やイベントスペース、コワーキングスペースとして活用



田舎暮らしはたのしい。
美味しいもの、おもしろい人も、豊かな自然もそろってる。
それらを更にたのしむための場所をつりました。
本棚が充実したコワーキングスペース、
この土地ならではのワークショップ、
おいしいおやつと飲み物のスタンド、
心が豊かになるものをあつめた土産店、
une
庭や屋内には子ども達を楽しめる木製遊具もあります。
コワーキングスペース
使用の方は訪れるみなさん次第。
食堂うね
創造力を最大限にうねらせて、
レンタルキッチン
自分らしい暮らしをつくってみてください。
こどものあそび場
早川土産店
uneを作る人募集
お知らせ





地域資源活用(2) 移住定住支援 もがさぼ

- 最上町の移住定住コーディネーター業務委託
 - － 移住希望者の相談業務
 - － HPやSNSでの広報・PR活動
 - － お試し移住体験プログラムの企画・実施
 - － 移住定住に関する研修及び会議等への参加
 - － その他移住定住の推進につながる業務

<https://town.mogami.lg.jp/mogamilife/>

最上町に住む人へのインタビュー



今橋 知幸 さん
理砂 さん

移住して新規就農者として養蚕となめこの栽培に挑戦中です！



松田 唯 さん

フランス料理店トトマビで夫と共に「もがみの味」を提供しています！



最上町ってどんなまち？

東北のほぼ中央に位置する最上町は、歴史と文化が息づく自然豊かなカルデラのまちです。慈覚大師円仁が錫杖(しゃくじょう)で突いたところから沸いたとされる赤倉温泉に、弁慶が義経の子・亀若丸の産湯として発見したといわれる瀬見温泉。また、俳聖 松尾芭蕉が逗留(とうりゅう)した町としても有名です。人が住んでいるところではほとんどみられないという分水嶺が堺田駅前を流れます。かつては馬産地として栄え、今も畜産業が盛んです。その堆肥を活用したアスパラガスの生産が最上町の主要作物となり循環が生まれています。豊かな森林資源を活かしたバイオマスエネルギーの普及にもいち早く取り組んでおり、持続可能な社会



4. 株式会社JPD

- 会社紹介
- 事業内容



Ecology Garden Office

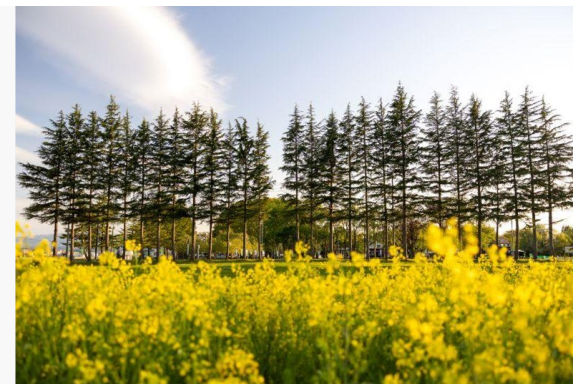
ABOUT COMPANY

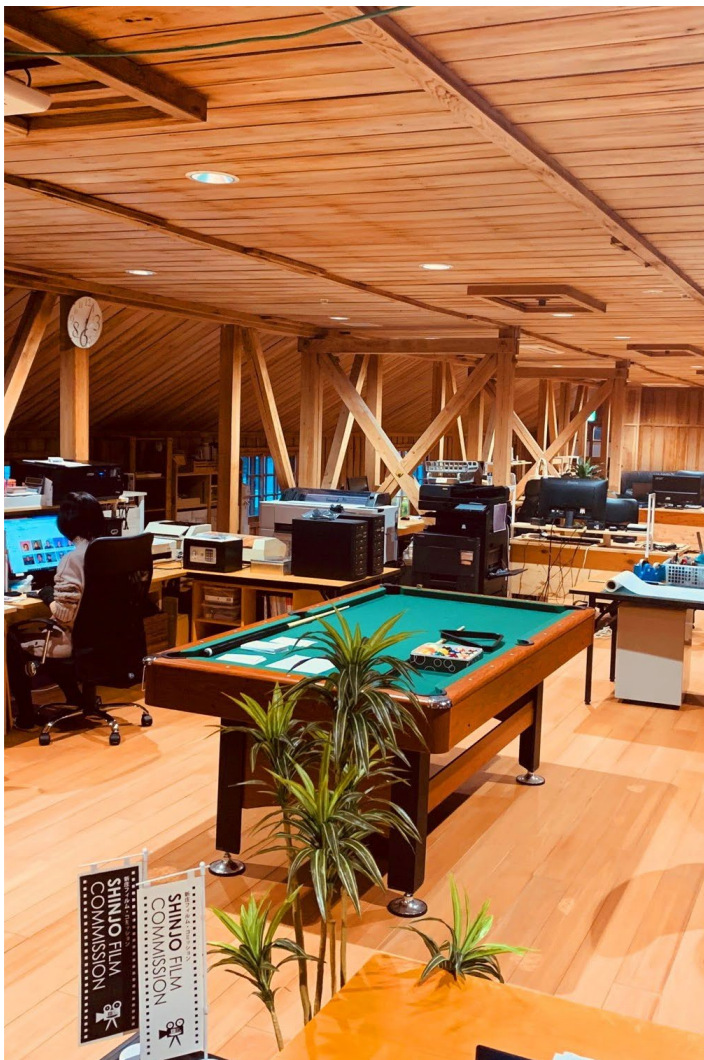
会社概要

About Us

1999年、私たちは山形県新庄市でスチール撮影からスタートしました。
それから地域のニーズに合わせて、動画・映像制作、Webサイト構築、アプリ・システム開発など、お客様の喜ぶクリエイティブ制作を目指してきました。

世界情勢の変化と多様化するお客様のニーズに応えるべく、豊富なアイデア、企画・実行力、そして確かなクリエイティブ制作を通して、お客様に本当に必要とされる価値を提供します。





Ecology Garden Office

株式会社JPD

所在地：山形県新庄市十日町6000-1 想像交流施設2F

代表者：菅 聡

設 立：1999年12月

URL : <https://jpd-inc.com>

営業所：ラボ 山形県新庄市沖の町7-24

郡山 福島県郡山市菜根3丁目8-6 八光薬品ビル2F東

東京 東京都台東区下谷2丁目17-11 快哉湯内

関 連：ゆめりあ未来創造共同企業体

株式会社JPD コミュニケーションズ

Reframe laboratory (ラボ)





OUR SERVICE CREATIVE PRODUCTION

クリエイティブ制作



Photography

家族写真、ポートレート、
卒業アルバム、遺影写真、
商品撮影、風景・素材撮影



Video / Movie

企業PV、観光PV、
Youtube、ネット公告、
360°、VR、アニメーション



Graphic Design

フライヤー、リーフレット、
ポスター、名刺、ラベル、
ロゴ、広告・素材



Web / Apps

Web／ECサイト構築、
Web／モバイルアプリ開発



OUR SERVICE FACILITY MANAGEMENT

施設管理

2022年4月より

ゆめりあ未来創造共同企業体にて
最上広域交流センター「ゆめりあ」の指定管理
を開始



MAINTENANCE

施設の維持管理
日常的な清掃・点検



RENTAL

会議室、ホール、貸し
スペースの貸出・運営



EVENT

イベントの企画・実施、
企画者の募集・呼び込み

WORKS WEB

01. Design / Usability

サイトの目的や業種によって、
最適なデザインと使いやすさを
ご提案します

02. Appropriate Contents

全体の構成から、細部の写真・映像、
テキスト素材まで、正しく伝
わるコンテンツを作成します

快哉湯 <https://kaisaiyu.com/>

東京の下町で愛された銭湯は、2016年惜しまれつつもその営業を終了しました。そして2020年、記憶をつなぐカフェ兼オフィスとして再生されました。時代を超えた建築の魅力がたっぷりと伝わるサイトに仕上がりました

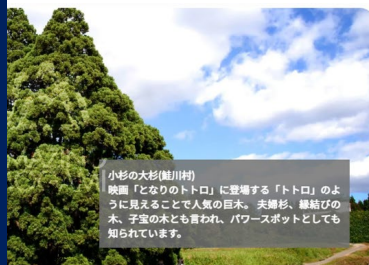


WORKS WEB

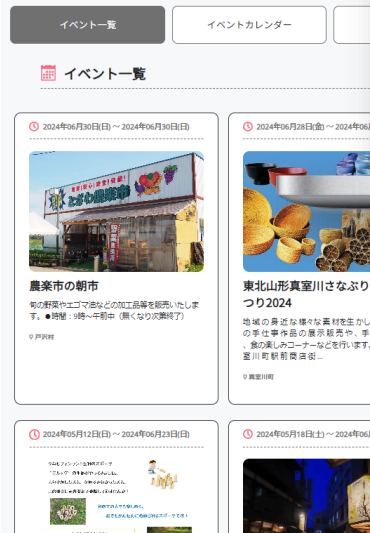
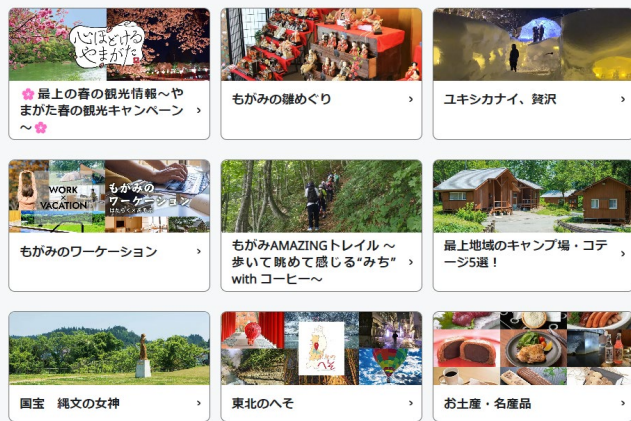


AMAZING MOGAMI（最上地域観光協議会） <https://kanko-mogami.jp/>
豊富なコンテンツを整理・再構築。特集、イベント、モデルコースを見やすく、管理しやすく。スポット情報はカテゴリ、エリア、現在地からの距離で絞り込み・検索可能に。

Web



PICK UP



5. まとめ

- なぜ2つの仕事をしているのか
- 今感じていること
- 今後の展望

なぜ2つの仕事をしているのか？

“ 目指すは地域密着のエネルギー会社

最上町（最上地域）の脱炭素化の取り組みを加速し、持続可能な地域づくりを担うローカルシンクタンク・中間支援組織

- もがみ地産地消エネルギー合同会社：もっちい
 - － エネルギーの地産地消 ⇒ 持続可能な地域をつくる手段の1つ
 - － 最上町の脱炭素化を進め、最上地域（8市町村）に広げていきたい
 - － この地域で生きていくため、豊かに暮らしていくためには必要なこと
- 株式会社JPD
 - － コンテツ制作やデザイン、IT支援などもこの地域に必要とされている
 - － 最上地域（8市町村）の様々な情報、人とのネットワーク
 - － 指定管理業務や行政支援の業務も拡大中
 - － 関東圏ともリモートでつながる

この2つの業務を通して、最上地域でエネルギーの地産地消を進め、地域の連携、自立を作っていきたい。

今感じていること

- 度重なる自然災害・気候変動の実感
 - 平成30年、令和6年、豪雨災害
 - 大雪、雪不足、極端な冬

最上町の夏・冬の変化

- 夏 ⇒暑い日が増えている。。
 - 30℃を超える日、35℃を超える日
 - 積算気温
- 冬 ⇒大雪・小雪、極端になってきている？
 - 降る年、降らない年
 - ドカ雪
- 降水量
 - 短時間（24時間・48時間）での降水量増
 - 局所的、ロシアンルーレット

近年の最上町の豪雨災害



2018年8月31日 毎日新聞より



2024年7月25日 最上町HPより

大雪・暖冬、極端な冬



2014年2月11日 赤川家周辺



2024年1月1日 赤川家元朝参りより



やまがた雪未来国スポ きょう開幕



2024年2月21日 YBC NEWSより

地球は冬が必要だ

一般社団法人Protect Our Winters Japan

<https://protectourwinters.jp/>



地球には冬が必要だ。

今後の方向性

地域エネルギー会社として自立したまちづくりを支援

● エネルギーの地産地消に脱炭素化と経済循環

やまがた新電力と連携して、最上町（もがみエリア）の公共施設、民間企業、一般家庭向けに、県内・町内の再エネ電気を供給。脱炭素化とともに、地域の経済循環を図ります。

● 中間支援組織、ローカルシンクタンクを目指す

行政と連携・協力し、住民を巻き込みながら、脱炭素化の推進と、地域資源の活用、および地域の課題解決を担っていきます。

- ・ ゼロカーボン推進協議会の運営と関連する活動・支援
- ・ 環境省の重点対策加速化事業への取り組み・体制づくり

もがみ過去未来会議（住民主導の住民会議）

【目的】

- 最上町（最上地域）が持続可能であるために、そして、このまち・地域で豊かに生きていくために、みんなで話し合うこと。
- 話し合った内容を政策や企画・提言としてまとめて、行政・民間企業と共有し、連携・協力体制を築いていくこと。
- 過去の記憶や記録を客観的なデータとともにアーカイブして、未来に残していくこと。

◇ テーマ

自然・気候、農業（コメ、アスパラ）、森林・木質バイオマス、温泉、温泉街、
お祭り・町内行事、馬、牛、スキー場（赤倉、瀬見、あたご、大堀）、
病院・医療、学校・教育、行政（役場・町長・議会）、公共施設、
インフラ（道路、鉄道、電気・ガス・水道）